



わたしに あたえられた まことの ちから

ルカ
24章 49節

さあ、わたしは、わたしの父の約束してくださったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっています。

本来の人は、神様とともにいてこそ、神様から与えられた祝福を思いきり味わうことのできる存在として創造されました。しかし、人は不従順の罪を犯して、神様から離れてしまいました。このとき、神様は女の子孫キリストを前もって準備してくださいました。これが霊的原理です。人は誰でも神様に会わなければなりません。

神様に会った人は、いつでもどこにいても神の国を味わいながら神様の霊に満たされる力を持つとき、最も強められます。そのためには、神様のみこころを求めて祈らなければなりません。このような霊的な力を受けた人はすべて、神様が与えてくださる答えを受けました。

今日から、考えや心よりももっと深いところにある私たちのたましいに、霊的な力が与えられるように、祈りの時間を持ちましょう。神様のみことばを心に留めてささげる祈りによって、神様が私に与えてくださった本物の力を受けられるようになるでしょう。



書いてみよう

私の心に霊的な力がいっぱいになるような聖句を書きましょう。そのような暗唱聖句を思い浮かべないときは、パパとママ、または、教会の先生とフォーラムをして、みことばを見つけて書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私を造り、私のたましいの主人である神様が、きょう、私に霊的な力を与えてくださり、祈ることができるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



まことの けいやくを もった ひとの レベル

Ⅰ サムエル 7章 12～13節

そこでサムエルは一つの石を取り、それをミツパとシェンの間に置き、それにエベン・エゼルという名をつけ、「ここまで主が私たちを助けてくださった」と言った。こうしてペリシテ人は征服され、二度とイスラエルの領内に、入って来なかった。サムエルの生きている間、主の手がペリシテ人を防いでいた。

パパやママを本当に愛しているなら、パパやママが願っていることを知りたいと思って話を聞くでしょう。同じように神様を愛しているなら、神様のみことばを大切に思って握るようになります。

神様のみことばに最も敏感に反応しなければならない祭司長エリとその息子たちは、まったく福音を大切にしませんでした。そのため、神様のみことばは宗教になってしまいました。結局、彼らは契約の箱を奪われて、みじめな死を迎えました。契約の箱が戻ってきたときも、イスラエルの民の霊的なレベルは変わっていませんでした。神様はそのとき、神様の願っておられることが分かるサムエルをたてられました。サムエルは、神様から与えられた契約のものをがしませんでした。ついに、ミツパ運動を通じて、イスラエルのすべての民が神様に祈るように導きました。このようなサムエルのことばは、一言も地に落ちることなく、彼が生きている間、ペリシテが攻め込んでくることはありませんでした。サムエルのように、神様から与えられたまことの契約を持った人のレベルになるように祈りましょう。私が神様のみことばにいちばん耳を傾けると、この時代のサムエルの祝福が臨むでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。サムエルのように、まことの契約、まことの力を
持ったレムナントのレベルを備えるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



数字を線でつないで、まことの契約を持った人が必ず味わう
神様とともにいる祝福を意味する単語を完成しましょう。



こたえ：IMMANUEL
(インマヌエル)



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



そのひ いらい

I サムエル 16章 13節

サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。

サタンは友だちに対する葛藤や、世的な喜びを通して、神様を見上げることができないように霊的な目を暗くさせます。そうすれば、礼拝とみことばに集中できないために私たちは力を受けることができず、神の子どもの祝福をのがしてしまうことを知っているからです。

レムナントのダビデは、孤独でつらかった羊飼いのころ、神様のみにことばに耳を傾けました。ひとりでいる時間に、神の子どもの祝福を思いきり味わいました。神様はこのようなダビデの中心をご存知で、王として選ばれました。

神様は、ダビデとともにおられたように、私とともにおられます。私たちは、礼拝とみことばに集中して、霊的な力を受けることに集中すれば良いのです。その力のある人にとって、霊的戦いはすでに勝利を保証されたものだという事実を知るようになるでしょう。そのためにはダビデのように、どんな状況でも礼拝の祝福を奪われないことが大切です。神様は、ダビデに与えた237か国を抱いて生かす神殿建築の答えを、私にも与えてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。礼拝の祝福を守る霊的な戦いのために、講壇のみことばをさきに握るレムナントになるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを 適用しよう

もう二度と礼拝の祝福を奪われませんと、きょう、心に決めましょう。きょうのみことばをもう一度、黙想して、私が礼拝する対象は神様ただおひとりであることを告白する祈り文を書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

25

もくようび

ふるい わくを こわした レムナント

詩篇
1篇2～3節

まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても采える。

聖書のレムナントダビデは、その一生の間に、多くの困難を経験しました。しかし、ダビデはいつも「神様がいつも私とともにおられる」という事実をのがしませんでした。むしろ神様の絶対の力なかですべてのことを頼って、みことばに従って、感謝と賛美を込めた詩を作りました。ダビデは困難を体験したことによって、むしろ、より一層神様を見上げるようになったのです。このようなダビデがどんな祝福を神様から受けたのかを聖書は記録しており、これによってこの話は私たちにも伝えられました。

神様はダビデとともにおられたように、いま私とともにおられます。私のすべてのことが神様の計画であるということを知るなら、みことばを通して神様が私をどのように導いておられるのかを確認することができます。

小さな問題を前にして、私の気分や考えのままに行動した過去の枠をこわしましょう。問題を見る私の考えと中心が福音の新しい枠に変わるように祈れば良いのです。どんな困難も神様の絶対の力の中にあるという事実を信じて、ダビデのように神様のみにことばに頼るなら、いつのまにか過去の枠は見えなくなるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私の過去の枠を壊すことができますように。神様とともにいる感謝の祈りをのがさないように、新しい枠を整えさせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんでいます

今月のなやみを見てみましょう

ウヨン牧師夫人
私、なやんでいます

21伝道者の生活
14番目の質問！

神の子どもが絶対に知っておくべき
方法はなんですか

とても重要な質問です。結論から言います。

神の子どもは、契約の旅(CVDIP)を歩む人です。ですから何をすることも、どんなときでも、かならず聖霊なる神様の助けを求めて生きるべきです。これを聖霊の導きと言います。毎日、神様が子どもの祈りの手帳を通して与えてくださる今日のみことばと祈りによってこの導きを受ければ、契約の旅を歩むことができます。これが神の子どもであるレムナントが知っておくべき方法です。

私たちが苦しい環境にいるとき、そこにはすばらしい神様の計画があります。私たちのレベルでそれを見つけることはむずかしいのですが、ただみことばと祈りで導かれれば、聖書のレムナントダビデのように、私の契約の旅を見つけるようになります。問題の中には、神様が私を造られた理由が隠されています。また、私が経験するすべての過程には神様が私を召された理由が隠されています。神様は、問題と経験を通して、私が証人として立つことを願っておられます。このように神様の理由を見つけて、少しずつ積み重ねていくなら、出会い、時間の中に神様から与えられた私だけの契約の旅(CVDIP)を見つけて、実現するようになります。

聖霊の神様は、すべてのレムナントが契約の旅を歩くように、私たちひとりひとりを導いておられます(ローマ 8:26～28)。きょう、知らせてくださる聖霊の導きを逃すことなく、受けて行くようにしましょう。

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



あたらしい わくを ととのえた レムナント

ルカ
5章 37～38節

また、だれも 新 しいぶどう酒を古い皮 袋 に入れるようなことはしません。そんなことを
すれば、新 しいぶどう酒は皮 袋 を張り裂き、ぶどう酒は流れ出て、皮 袋 もだめになっ
てしまいます。新 しいぶどう酒は 新 しい皮 袋 に入れなければなりません。

とても怒ったまま眠ると悪い夢を見たりして、朝起きたときに気分がすっきりしませ
ん。このようにすると、私 のたましいとからだは、大きな問題にぶつかるようになります。
私 たちのからだたましいは、今、神様の 働 きのために 準 備 されている時期です。
ですから、神様から与えられる答えを受けるための 新 しい器 をこれから 準 備 しなければ
なりません。そのために、私 が主人であった過去の枠を、神様が主人である 新 しい枠と
して 整 えなければなりません。

新 しい枠を 整 えようとするなら、先に神様のみことばが私 に留まらなければなりませ
ん。毎 週、日曜の礼拝で与えられる講壇のみことばと、毎日<子どもの祈りの手帳>の
みことばを黙想してフォーラムしながら、私 の 考 え、感 情、できごとを整理して祈るこ
とがとても 重 要です。その時間は、神様を 私 の主人として認める時間であるからです。
特別なことをするので神様が用いてくださるのではありません。みことばを毎日私 の心
に留めるなら、福音の基 準 ができて、その 新 しい枠が無限の神様の力として私 の生活
に答えとして現れます。今日、私 の主人が神様であることを認める福音の 新 しい枠を
整 えるみことば黙想と祈りの時間を 必 ず持って、新 しい枠を 強 固にする機会をのがさ
ないようにしましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。毎日、みことばを心 を留めて、そのみことばによ
って私 のすべてのことを見る 新 しい枠を 整 える一日をはじめますように。生き
ておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

レムナントの 新 しい枠のために、私 の主人が神様であることを
認める時間を持つスケジュールをたてましょう。



きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料



ふくいんの わくを ととのえた レムナント

ガラテヤ 2章 20節

わたしはキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。

神の子どもである私は、どんな枠を持っているのかを考えてみましょう。神様は私がみことばに合う枠を持つことを望んでおられます。それでは、どのような枠を整えることを神様は願っておられるのでしょうか。

最初に、私が主人でなく、キリストが主人である枠です。(ガラテヤ2:20)すでにすべてを完了されたキリストの力のなかで生きることを望んでおられるからです。2つ目、神の国のために生きるという目標を持った枠です。(ピリピ3:1~21)勉強する理由も友だちと会って遊ぶ理由も、すべて神の国のためであることを知るとき、神様が私を導いておられることを知ようになります。3つ目、教会で救いの祝福と世界福音化に用いられる、みことばの恵みを受ける枠です。礼拝をささげるとき、神様に集中する時間を持つとき、みことばが私に刻印されて、その枠が少しずつ整えられるでしょう。今日、私の枠を変えることを決断する日にしましょう。神様が願っておられる枠を整えるとき、私は最も安全な神様の翼の下で、世の中を生かすレムナントとして成長するでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様とともにいるときに幸せになるように造られた私が正しい霊的な枠を整えることができるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
てまよう
適用しよう

福音の枠を整えるレムナントのすがたです。
次のページからあう絵を見つけて、はりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

